

令和4年度分 セルフモニタリング報告書

5年 5月 30日

施設名: 早来児童センター
 指定管理者名: 学校法人リズム学園

モニタリング項目	指標	指定管理者コメント	自己評価
1 事業計画の達成度			
事業計画の内容に従い、適切に施設の管理が行われたか。		コロナ禍による中止となった事業もあったが、その状況の中でも実施できるものについては計画し、施設管理についても実施している。	A・ B ・C・D
施設利用者数の増加、利用率の上昇、利用者利便性の向上などの目標は達成されたか。	利用者数 施設稼働率 (参考)利用料金収入の状況	コロナ禍による利用者減も見られていたが、AMIについては親子の児童センター利用が徐々に戻りつつある。しかしながらPMからの放課後児童クラブ登録者数ですですでに90名を超える状況と、平均50～60名前後の児童利用のため、活動場所の確保が難しくなっている。	A ・B・C・D
自主事業は計画どおりに行われたか。	委託事業・自主事業の実施状況及び事業参加者数	コロナ禍による中止となった事業もあったが、その状況の中でも実施できるものについては計画し実施した。	A・ B ・C・D
利用者拡大・事業実施等の情報発信が行われたか	情報発信・事業PR回数	併設している子ども園との協力事業や、事業実施後のSNSでの発信等も随時行うことで町内外からの問い合わせも増えてきている。	A ・B・C・D
地域、関係機関、ボランティア等との協働・連携に向けた取組が行われているか。	地域・関係団体等との連携	マルシェ活動や放課後子ども教室での地域講師を含めた地位資源の活用もはじめとした連携についても適宜実施している。	A・ B ・C・D
2 利用者の満足度			
利用者の満足が得られているか。	利用者満足度	年度末に利用者アンケートを実施しており一定数の評価はいただいている。	A ・B・C・D
利用者の意見・要望の把握は適切に行われているか。	苦情・要望の状況 (利用者アンケート調査結果)	意見や要望が出しやすいように保護者への声かけや、日々の様子の伝達など関係づくりに努めた	A・ B ・C・D
利用者の意見・要望・苦情への対応は十分に行われたか。	窓口体制の状況	都度対応していることで実施できている。	A・ B ・C・D
3 管理運営の効率性			
経費の低減は図られているか。またその取組は十分か。	効果的な管理運営取組状況	できる限りの経費削減には努めてはいるが、必要なものについては限界があるため、今後も検討していく必要がある。	A・B・ C ・D
一部業務の再委託に要している経費は、適切な水準か。また、経費が最小となるような取組はされているか。	効果的な管理運営取組状況	再委託している業務はなし	A ・B・C・D
4 適正な管理運営			
雇用・資材調達・再委託等、地域貢献に努めているか。	職員の配置状況	可能な限り実施している	A・ B ・C・D

職員の能力向上に向けた取組は行われたか(研修等)。	職員研修の実施状況 マニュアル等の作成 状況委託の状況	施設内外での研修についても実施している。	A · B · C · D
施設の平等な利用等について、適切に処理されているか(使用料の減免、還付含む)。	利用拒否の状況、平等利用の取組状況	可能な限りの対応は行なっているが、利用についての約束について遵守できない場合については利用制限をしている	A · B · C · D
利用者の個人情報等について適正に管理が行われていたか	個人情報保護の取り組み(対策)	守秘義務の徹底についてや個人情報の取り扱いについて十分に配慮の上、実施している。	A · B · C · D
収支の状況に不適切な点はないか。会計処理は適正か。	収支決算の適正な管理	会計担当により適切な処理をなされている	A · B · C · D
施設・設備等の法定点検及び保守は、適正に行われているか。	施設修繕等の状況	子ども園側との連携しながら定期的に実施している	A · B · C · D
書類・備品等の管理は適正に行われているか。	備品購入廃棄の状況	使用状況や劣化の有無などの状況を見ながら精査しているが、今年度内での廃棄については該当なし	A · B · C · D
安全対策(事故防止等)は十分だったか。	事故等の発生状況 マニュアル等作成状況	子どもの活動状況に合わせながら環境設定を行うなどして、事故防止に努めている	A · B · C · D
法令・協定書等を遵守し、適正管理が行われているか。	基本協定書及び年度協定書の等遵守	職員全体で共通理解を図り、順守に努めた。	A · B · C · D
5 地域貢献			
雇用・資材調達・再委託等、地域貢献に努めているか。	地元発注状況	可能な限り実施している	A · B · C · D

A: 目標、事業計画を上回る取組がされており、管理運営状況は極めて良好である。

B: 目標、事業計画どおり又はそれ以上の取組がされており、管理運営状況は良好である。

C: 概ね目標、事業計画どおり行われており、管理運営も適正で、特段問題は見られない。

D: 目標、事業計画において一部未達成があるなど計画内容を下回っており、又は管理運営において一部不適正な部分があるなど、改善が必要と認められる点がある。

自己評価 ★ ★ ★ ★ ☆

(最大評価を★5つとし、5段階評価で星を塗りつぶしてください。)

指定管理者の自己評価(全体を通して)

令和4年度についてもコロナ禍による活動の縮小、制限などがおおくあった。
 児童センター利用について、親子利用・児童利用ともに自粛されている傾向にあると感じる。
 午後の放課後児童クラブ及びランドセル来館利用については、若干の利用人数の低下は見られるものの、月曜日から土曜日までの開館時には一定の利用数は続いている。
 利用定員40人の施設キャパであるが、それ以上の利用数があることやコロナの条件緩和や早来学園の開校(町内小学校の統合など)により、利用児童・生徒数が増加しており、活動場所の確保・分散化についても検討していく必要があると感じている。

昨年度に引き続き、町内で生活している子どもたちの遊び場の一つとして各種プログラムを計画・実施し、子どもたちの興味関心を確認しながらの場所づくりを行なっている。「児童館＝楽しい場所」として引き続き子どもたちに認知をしてもらうよう努めたほか、子どもたち自身でのプログラム立案や遊びづくりについても行なっており、次年度以降も継続的な働きかけを行なっていきたい。

また、地域や学校とのつながりなど最大限の地域資源の活用についても引き続き検討していくとともに、子どもを主体とした活動の展開を考えていきたい。